

令和2年度 学校教育自己診断の結果と分析 [令和3年1月実施]

【総論】

- 生徒の回答は、ここ数年の上昇傾向が今年度も継続をしており、多くの項目において昨年度よりも肯定的回答が増加をしている。
- 保護者の回答は、ここ数年の上昇傾向がさらに一段と加速をし、ほぼすべての項目において肯定的回答が増加し、保護者との信頼関係が深まっている。
- 教職員の回答は、項目によって増減の差が激しく、モザイク模様となっている。設問の内容等に不明瞭な部分もあり、回答の判断に迷うとの意見もあることから次年度に向けて設問内容の検討が必要と思われる。

【総合的な項目について】

- 総合的な項目については、生徒・保護者とも大幅な上昇がみられ、高い評価を得ることができた。教育活動全般について高い満足度を得ることができている。
 - ・《生徒評価》
 - 「この学校に入ってよかった 75.5% (+4.7%)」
 - 「学校へ行くのが楽しい 73.4% (+8.7%)」
 - ・《保護者評価》
 - 「佐野工科に行かせて良かった 96.5% (+1.7%)」
 - 「子どもは学校へ行くのを楽しみにしている 81.5% (+6.7%)」
 - ・《教員評価》
 - 「学校は教育活動全般について、生徒や保護者の願いにこたえている 66.7% (+0.7%)」

【学習指導について】

- 授業に対する生徒の評価については、専門系と普通教科で評価が分かれた。普通教科は増加し、高い評価となったが、専門系の座学については減少し、今後改善の取り組みが必要と考えられる。
 - 一方、保護者の評価は大きく上昇し、また教員の評価においても著しい上昇がみられた。
- ・《生徒評価》
 - 「普通科目の授業はわかりやすい 80.1% (+3.1%)」
 - 「専門科目の授業（座学）はわかりやすい 67.9% (-4.8%)」
 - 「実験・実習などの授業はよく学習できている 82.2% (+1.1%)」
- ・《保護者評価》
 - 「子どもは、授業が分かりやすく楽しいと言っている 68.0% (+7.9%)」
- ・《教員評価》
 - 「到達度の低い生徒に対する学習指導を全校的課題として取り組んでいる 50.0% (+10.0%)」
 - 「学習意欲の高い生徒に対する学習指導を個に応じた視点で工夫をしている 50.0% (+8.0%)」
 - 「本校の工業教育は現状のままでよい 35.4% (+12.9%)」

【生徒指導等について】

- 生徒指導に関する項目においては、おおむね良好な結果であった。多くの項目で向上がみられる。今後、さらに生徒の納得感を高める対応等を進めることが必要と思われる。

- ・《生徒評価》
 - 「いじめについて真剣に対応してくれる 83.5% (+4.7%)」
 - 「命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある 82.6% (+0.6%)」
 - 「先生の指導は納得できる 57.1% (-2.1%)」
- ・《保護者評価》
 - 「いじめや差別を許さず、厳しく対応している 89.8% (+4.9%)」
 - 「学校の生徒指導の方針に納得できる 84.0% (+3.7%)」
 - 「生命を大切にすの心や社会ルールを守る態度を育てようとしている 90.8% (+3.2%)」
- ・《教員評価》
 - 「いじめの際の体制が整っており、迅速に対応することができている 64.6% (+22.6%)」
 - 「生徒の問題行動が起きたとき、組織的に対応できる体制が整っている 70.8% (+2.8%)」
 - 「生徒指導において、家庭との緊密な連携ができている 72.9% (-1.1%)」
 - 「カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導が行われている 43.8% (+5.0%)」

【進路指導等について】

○生徒、保護者ともに、進路に対しての取組みについては、昨年度と大きな変化はなく、高い評価を維持している。

- ・《生徒評価》
 - 「進路のことを考えてこの学校に入学した 81.7% (+1.2%)」
 - 「卒業後、進学したい学校や就きたい職業がある 65.5% (-1.8%)」
 - 「将来の進路や生き方について考える機会がある 78.4% (+0.3%)」
 - 「進路希望に応じた授業が選択できる 83.3% (-2.3%)」
- ・《保護者評価》
 - 「将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている 94.1% (+0.5%)」
- ・《教員評価》
 - 「興味・関心・適正に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導 62.5% (+4.5%)」

【その他の項目について】

○新型コロナウイルスの影響はいくつかの項目でみられ、生徒や教員の行事に対する評価は大きく低下した。

一方、このことを含めた学校と家庭の連携においては、今年度様々な手法を用いた情報発信を行った結果、保護者からの評価は大きく向上し、学校行事への参加率も向上するなど信頼関係の構築に寄与したと思われる。

- ・《生徒評価》
 - 「文化祭、体育祭、修学旅行は楽しく行えるよう工夫されている 65.2% (-4.9%)」
- ・《保護者評価》
 - 「学校は家庭への連絡や意思疎通を積極的に、きめ細かく行っている 80.1% (+9.3%)」
 - 「学校は教育情報について、提供の努力をしている 87.2% (+10.6%)」
 - 「学校の授業参観や学校行事に参加したことがある 58.2% (+11.0%)」
- ・《教員評価》
 - 「教育活動について、教職員で日常的に話し合っている 54.2% (-1.8%)」
 - 「学校行事が生徒にとって魅力のあるよう工夫・改善を行っている 43.8% (-12.3%)」